

「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」について 余震活動の状況と今後の見通し

【余震活動の状況】

余震は、岩手県沖から茨城県沖の広い範囲で発生しています。昨日（22日12時）から本日（23日12時）までに、M6.0以上の余震は5回、M5.0以上の余震は20回発生し、これまでに発生した余震は、M7.0以上は3回、M6.0以上は59回、M5.0以上は343回です。（注：余震回数は速報値で、後日の調査で変更になることがあります。）

【余震の見通し】

余震は、次第に少なくなっていますが、未だ活発な状況です。余震は、広い範囲で発生しているため、同じ規模の余震であっても、発生する場所により各地での震度は異なります。

今後も、震源地に近いところで最大震度5弱以上となる地震が発生する可能性があります。場合によっては、震度6弱～6強となる余震が発生する可能性もありますので警戒してください。

【防災上の留意事項】

揺れの強かった地域では、土砂災害や家屋の倒壊などの危険性が高まっていますので、余震による強い揺れに引き続き警戒してください。

復旧活動など屋外で行動する場合は、余震の揺れによって二次災害のおそれがありますので、十分に安全を確認して行動するよう心がけてください。

また、大きな余震が発生すると津波が発生する可能性があります。海岸で強い揺れを感じた場合、また、揺れを感じなくても津波警報や津波注意報が発表された場合には、直ちに海岸から離れ高台等の安全な場所に避難してください。

<http://www.jma.go.jp/jma/press/1103/23e/201103232010.html>

（平成23年3月23日17時00分気象庁報道発表資料参照）